

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	可児市立広見小学校	
実施期間	平成25年10月3日(木)～平成25年12月6日(金)	
実施概要	①福祉体験 ②地域先生による体験活動 ③地域を知る学習 ④PTAボランティアによる学習活動 ⑤あいさつ運動 ⑥親子観劇会 ⑦人権集会 ⑧PTA活動 ⑨学習活動の成果発表 ⑩PTA資源回収 ⑪花いっぱい運動への参加	
実施内容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
来校者数	保護者	約1000人
	地域関係者	約50人
	計 約1050人	
実施状況	<p>①・6年生：「共生」をテーマに地域の老人福祉施設を訪問して交流活動を行った。事前学習として「老人体験」を行った。</p> <p>②・4年生：校区の陶芸家を講師に作陶体験をし、伝統工芸を学んだ。 ・4年生：校区の昔の様子について地域の昔を知る方から学んだ。 ・5年生：多文化共生センターの方や地域の外国籍の方を講師に、外国の食文化を学んだ。</p> <p>③・1年生：地域の憩いの場である「みかくし山」で、生活科の「秋みつけ」の学習活動を行った。</p> <p>④・PTA母親委員やボランティアの方に各学級で本の読み聞かせをしていただいた。父親ボランティアの姿も見られるようになってきた。 ・2年生：生活科の地域探検では、保護者ボランティアを募り、児童の学習を支援していただいた。</p> <p>⑤・PTA役員、青少年育成市民会議、人権擁護委員、職員が登校時に校門に立ち、明るいあいさつで児童を迎えた。</p> <p>⑥・劇団「ボプラ」による「ピーターパンとウエンディ」の観劇会を行った。親子で同じ劇を観る事で感動を共有する機会とすることができた。この取り組みも4年目を迎え、保護者にも活動が定着してきた。</p> <p>⑦・「ひびき合いの日」に合わせて、全校朝会に人権擁護委員の方に来ていただき、「いじめをしてはいけないこと、困ったら相談すること」等について、寸劇を通して分かり易く話していただいた。</p> <p>⑧・「いいことみんなに みんなのしく」というテーマで中桐万里子さん(二宮金次郎の子孫)を講師にPTA主催による親子講演会を実施した。 ・PTA常任委員が、あいさつやおもいやりをテーマに児童に向けて寸劇を行った。</p> <p>⑨・3年生、4年生、6年生が全校朝会の場で学習発表を行った。保護者にも公開し多くの方に参観していただいた。 ・全校大縄大会：1週間にわたり、昼休みの時間を利用して1学年ずつ大縄大会を開催した。本校の伝統ともなっている大縄への関心は保護者も高く、多くの保護者が児童の応援に来校した。 ・自主研究発表会を開催し、「仲間づくり」を基盤とした授業提案と授業研究会を実施した。学校評議員やPTA役員等、地域の方にも来ていただき、仲間と共に学び合う子供たちの姿を参観していただいた。</p> <p>⑩・PTA活動、地域行事に親子で参加した。</p>	
成果及び課題	<p>成果○ 課題△</p> <p>○「岐阜県ふるさと教育週間」の時期に、恒例としている行事や学習が幾つもある。毎年行うことで、地域や保護者の方にも意識されるようになってきた。また、参加者が年々増えており、学校を理解してもらい良い機会となっている。「大縄大会」は本校の「伝統」となりつつある。(今年度は、1分間8の字跳びで、217回のギネス世界記録を達成した。)</p> <p>○人権月間と結びつけた活動を意図的に仕組み、親子で人権について考えるきっかけ作りをすることができた。</p> <p>○地域の方に学校に来ていただいたり児童が地域に出かけて行ったりして、様々な体験活動をして触れ合う中で、児童が自分の住んでいる地域や地域の人々を理解したり愛着を感じたりすることができた。</p> <p>△「ふるさと教育週間」のよさを事前にPRすることで、より多くの方の参加と理解を得ることができる。</p> <p>△次年度に向けて改善点を明確にし、取り組みがマンネリ化しないように工夫する。</p>	

